



ずいりゅう まつ

こう けい じゅ

葛飾柴又帝釈天の名木「瑞龍松」の後継樹の里帰り ー林木遺伝子銀行110番による樹木の増殖サービスー

ポイント

- ・東京都葛飾区の保存木に指定されている柴又帝釈天題経寺の名木のクロマツ「瑞龍松」の後継樹の苗木が、独立行政法人森林総合研究所林木育種センターから里帰りします。

概要

茨城県日立市にある独立行政法人森林総合研究所林木育種センターでは、我が国の貴重な林木遺伝資源の保全を図るとともに、品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。この事業の一環として、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存と併せて、所有者等の要請により後継樹を増殖するサービス「林木遺伝子銀行110番」を行っています。このサービスを利用して増殖を要請され、接ぎ木により増殖し育てた葛飾柴又帝釈天題経寺の「瑞龍松」（クロマツ）の後継樹の苗木が、4月8日の帝釈天題経寺の花まつりの日に里帰りします。

問い合わせ先など

独立行政法人 森林総合研究所 林木育種センター

事業責任者：遺伝資源部 探索収集課 課長 山田浩雄

担当者：探索収集課 遺伝資源収集係長 大塚次郎

遺伝資源収集係 大久保典久

広報担当者：育種企画課 調整係 長 天野里美

Tel : 029-439-7002 Fax : 029-439-7306

本資料は、林政記者クラブ、農林記者会、農政クラブ、東京都庁記者クラブ、茨城県政記者クラブ、日立市役所記者クラブに配付しています。



背景・経緯

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている巨樹・名木等が数多く存在します。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けているので、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れている可能性が高く、林木遺伝資源として貴重なものです。このため、森林総合研究所林木育種センターでは、天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、樹木が衰弱している等で所有者等からの要請により後継樹の苗木を増殖するサービス「林木遺伝子銀行 110 番」を平成 15 年から実施しています。これまでに全国の 160 本以上の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを実施しています。後継樹の苗木は、さし木や接ぎ木で増殖したものであり、親木と同じ遺伝子を持っていますので、二代目として大きく成長することが期待されます。

内容

- (1) 今回里帰りする後継樹の親木は、東京都葛飾区の保存木に指定されている柴又帝釈天題経寺の御神木の「瑞龍松」と呼ばれるクロマツの木です。

この木は、200 年前の江戸時代の絵図にも記載があり、文献によると 450 年前にはある程度の大きさがあつたとされています。現在の樹高約 9m、幹周囲長約 3m、樹齢は 500 年生とも言われています。名前のとおり龍の如く天に上昇する樹形をした松です。

平成 25 年 10 月に後継樹の増殖の要請を受け、平成 26 年 2 月に瑞龍松から接ぎ木に用いる穂木（枝）を採取し、当センターの苗畑で接ぎ木による増殖を行いました。

平成 27 年 2 月時点で苗高 50cm 程度の苗木 5 本を育成中です。このうちの 2 本が 4 月 8 日に行われる葛飾柴又帝釈天題経寺の花まつりの日に里帰りします。

- (2) この他に、地元から要請を受けて増殖を行い育成した長野県指定天然記念物大町市美麻の「大塩のイヌザクラ」（イヌザクラ）、埼玉県指定天然記念物坂戸市の「入西のビャクシン」（イブキ）、福島県会津坂下町指定天然記念物の「杉の糸桜」（エドヒガン）の後継樹の苗木が、今春各地元に里帰りします。

図、表、写真等

「瑞龍松」



瑞龍松の後継樹

